

アクティブラーニング型プログラム 2025年概要書

■タイトル：

南三陸 SDGs アクティブラーニングプログラム①環境学習～HOBIE にてアマモ場見学付き～

生きるうえで欠かせない「食」。その「食」に関する課題を、南三陸町の漁業や海の環境を通して考えます。震災後に大幅に減少したアマモ場では、苗の移植による再生活動が行われています。参加者は HOBIE（足漕ぎ型カヤック）に乗り、その取り組みが行われている湾を見学します。※アマモ場は小さな魚や海の生き物のすみかとなることから「海のゆりかご」と呼ばれています。実際に「見て・触れて・感じる」体験を通して、自らの課題として考えを深め、グループディスカッションや発表を通じて他者のアイデアにも触れることで、さらに深い探究につなげていきます。

■料 金：1名 9,460円（税込）

■所要時間：200分（3時間20分）

■定 員：8～16名（最大20名・要相談）

■服 装：濡れても良い服装

■持 ち 物：帽子、タオル、サンダル（濡れてもよい靴）、雨カッパ、着替え

■開催場所：南三陸・海のビジターセンターほか

■内 容：

①レクチャー（20分）

- ・志津川湾の環境・アマモ場の事前レクチャー

②フィールドワーク＜乗船体験＞（60分）

- ・HOBIEに乗船し、アマモ場を見学

③ワークショップ（120分）

- ・個人ワーク、グループワークを経て発表

■留意事項

・HOBIE乗船に際し、海に落ちることはほぼありませんが、波しうきで衣服や足元が濡れますので予めご了承ください。また、すべての参加者に救命胴衣が配られますので正しく着用していただきたいと思いますようお願いします。

・救命胴衣装着のため、リュックなど大きな荷物はバスなどへ置いておくようお願いします。

・海上には救急対応資格を持つガイドが同行します。

・天候等の状況に応じて HOBIE 乗船を中止する場合があります。

■関連する SDGs のゴール

- ・8.働きがいも経済成長も
- ・9.産業と技術革新の基盤をつくろう
- ・11.住み続けられるまちづくりを
- ・12.つくる責任つかう責任
- ・13.気候変動に具体的な政策を
- ・14.海の豊かさを守ろう

